

アジアの未来を拓くファイナンシャル・グループ

日本、韓国、東南アジア、そしてアジア全域へ。

Jトラストは、総合金融サービスを通じて新たな価値を創造し、アジアの経済発展に貢献していきます。

企業理念・行動理念

企業理念

お客様のため、株主様のため、私たち自身のため、
いかなるときも迅速に、誠実にチャレンジし続け、
皆様とともに世界の未来を創造します。

Jトラストは、上記の「企業理念」の実現に向けて、以下のことを推進してまいります。

1. お客様、株主の皆様、お取引先等、全てのステークホルダーをお客様と考え、その期待に応えるため、「お客様第一」の行動を実行してまいります。
2. 様々な事象に対し「迅速」に対応するとともに、現状に満足することなく「創意工夫・改善」を実行してまいります。
3. 「適時且つ正確な情報開示」を実行するとともに、業務執行にあたっては「高い倫理観」を持って取り組んでまいります。
4. 「新たなサービスや価値観を創造・提供」し、経済の発展に貢献してまいります。

行動理念

行動理念は、Jトラストの英文字の6つで構成されています。

- 『J』 = 「Justice」 公正な企業経営を行います。
- 『T』 = 「Teamwork」 経営の根幹である「人」の個性を活かした組織を作ります。
- 『R』 = 「Revolution」 常に革新志向で価値創造を行います。
- 『U』 = 「Uniqueness」 当社の独自性を大切にします。
- 『S』 = 「Safety」 お客様、ステークホルダーの皆様に安心いただけるよう努めます。
- 『T』 = 「Thankfulness」 感謝の気持ちを忘れません。

CONTENTS

Jトラストグループ成長の軌跡	2
Jトラストグループの事業基盤	4
Jトラストグループの強み	6
ステークホルダーの皆様へ	12
特 集	
アジアにおける金融事業の拡大に向けて 積極的なM&Aを推進	18
パフォーマンスハイライト	20
国内金融事業	22
韓国金融事業	24
東南アジア金融事業	26
非金融事業	28
サステナビリティ・ハイライト	29
10年間の連結財務ハイライト	42
連結財務諸表	44
主要子会社の財政状態計算書	48
主要子会社の損益計算書	50
会社情報	52
投資家情報	53

将来の見通しに関する注記事項

当アニュアルレポートの記述には、Jトラストグループの将来の業績等に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいており、潜在リスクや不確実性が含まれています。実際の業績等は、経済の動向、当社を取り巻く環境等様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Jトラストグループ成長の軌跡

Jトラストグループは、日本で培った審査力・回収力やマーケティング力などのオペレーションノウハウを海外展開するとともに、その国の良い所と融合することで、アジア各地における事業領域を拡大してきました。

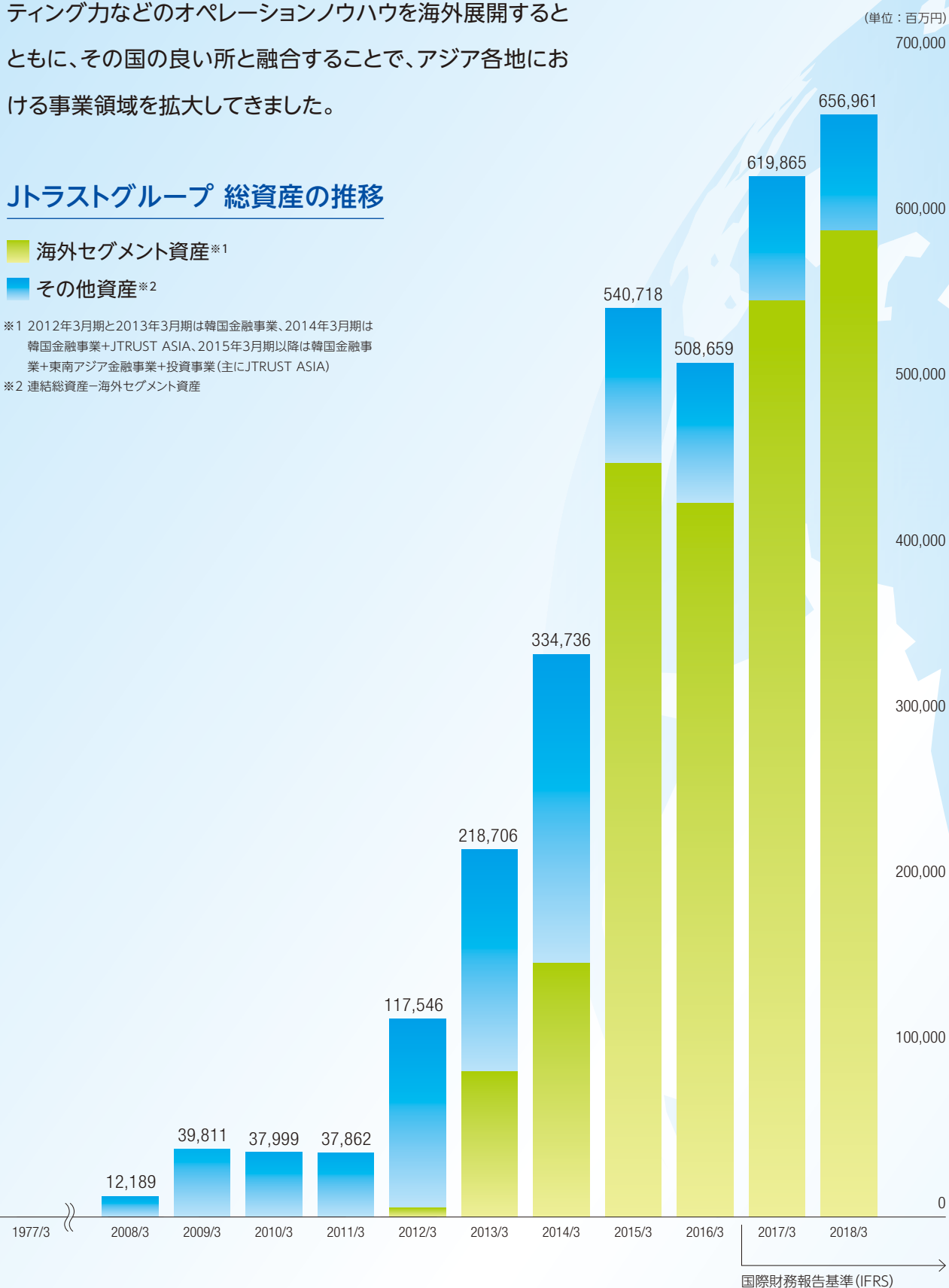
Jトラストグループ 総資産の推移

■ 海外セグメント資産※1

■ その他資産※2

※1 2012年3月期と2013年3月期は韓国金融事業、2014年3月期は韓国金融事業+JTRUST ASIA、2015年3月期以降は韓国金融事業+東南アジア金融事業+投資事業(主にJTRUST ASIA)

※2 連結総資産-海外セグメント資産



積極的なM&Aの推進によりアジアにおける総合金融事業を拡大

モンゴル 2018

Capital Continent Investment NBFi取得

金融市場の成長を事業機会と捉え、モンゴルの金融市場に参入。

カンボジア 2018

ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.取得を発表

経済成長著しいカンボジア王国における銀行業務への参入を予定。

シンガポール 2013

JTRUST ASIA (Jトラストアジア) 設立
東南アジアでの事業展開の推進を目指し、シンガポールに拠点を設立。

インドネシア 2014

現Bank JTrust Indonesia (BJI、Jトラスト銀行インドネシア) 取得
経営破たんした商業銀行を買収し、インドネシアで銀行業に参入。

2015

JTRUST INVESTMENTS INDONESIA (Jトラストインベストメンツ
インドネシア) 設立

日本・韓国で培ったノウハウを活かし、BJIの不良債権を回収するとともにインドネシアにおいてサービサー市場を開拓。

2018

PT. OLYMPINDO MULTI FINANCE取得を発表

農機具のファイナンスやマイクロファイナンスなどの新商品の提供を予定。
銀行やサービサーとのグループシナジーを期待。

韓国

2011

ネオラインクレジット取得

韓国への本格的な進出の第一歩として、金融事業会社を買収。

2012

現JT親愛貯蓄銀行が営業開始

経営破たんした貯蓄銀行の一部資産と負債を承継したのち、経営再建を開始。2年半で黒字化を実現。

2014

金融事業会社2社を取得

貸出事業をJT親愛貯蓄銀行に譲渡するとともに、うち1社をTA資産管理に社名変更し、サービサー事業を推進。

2015

現JT貯蓄銀行および現JTキャピタルを取得

総合金融グループとしての事業基盤を確立。

JTラストグループの事業基盤

JTラストグループの中核は金融事業です。日本においては、信用保証と債権回収に注力しています。また、日本で培った審査力・回収力やマーケティング力を韓国に持ち込み、貯蓄銀行を再建したほか、銀行、債権回収、リース・割賦からなる総合金融サービスを提供する事業基盤を確立しました。さらに、インドネシアでは、韓国での銀行再生経験を活用して商業銀行の再建に目処をつけたほか、サービスやファイナンスカンパニーとの三位一体の事業基盤の構築を追求しています。

投資事業

主に東南アジア地域での事業拡大に向けて、シナジー効果の拡大が見込める投資を行っています。

不動産事業

不動産売買・不動産仲介業務に加え、収益物件の仕入れおよび販売業務などを行っています。

総合エンターテインメント事業

総合エンターテインメント施設運営事業を売却する一方で、スタジオ運営やテレビ番組制作の事業に進出しました。



日本保証

保証提携先金融機関9行

- | | |
|---------------|--------------|
| • 株式会社SBJ銀行 | • 株式会社愛媛銀行 |
| • 株式会社香川銀行 | • 近畿産業信用組合 |
| • 株式会社西京銀行 | • 湘南信用金庫 |
| • 成協信用組合 | • 株式会社大正銀行 |
| • 株式会社東京スター銀行 | (2018年7月末現在) |

韓国金融事業

銀行・債権回収・ファイナンスの三位一体の総合金融サービスを提供しています。JT親愛貯蓄銀行、JT貯蓄銀行の2行の銀行に加え、TA資産管理による債権買取回収、JTキャピタルによるリース・割賦サービスを展開しています。

国内金融事業

信用保証業務では、都市部におけるアパートローン保証に加え、富裕層が海外に取得する不動産のローン保証やリバースモーゲージローンの保証を行っています。

債権回収業務では、国内トップクラスの回収力を強みに、不良債権の買取回収を拡大しています。

保証

• 日本保証
サービス

• パルティール債権回収
クレジット・信販

• JTラストカード

アジア経済の活性化に貢献

東南アジア金融事業

2018年4月、PT. OLYMPINDO MULTI FINANCE (OMF)の株式取得を発表しました。買収完了後は、Jトラスト銀行インドネシア、Jトラストインベストメンツインドネシア、OMFによる三位一体の総合金融サービスの提供が可能になります。

商業銀行

- Jトラスト銀行インドネシア

サービス

- Jトラストインベストメンツインドネシア



インドネシアにおいて総合的な金融サービスを提供するJトラスト銀行インドネシア



日本のサービスノウハウをインドネシアで展開するJトラストインベストメンツインドネシア

貯蓄銀行

- JT親愛貯蓄銀行

- JT貯蓄銀行

サービス

- TA資産管理

リース・割賦

- JTキャピタル

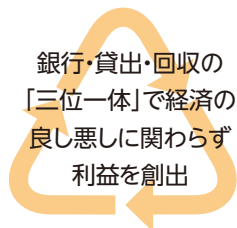


銀行業

- JT 親愛貯蓄銀行
- JT 貯蓄銀行



債権買取回収事業



- JT キャピタル



割賦/リース事業



Jトラストグループの強み

THE J TRUST WAY OF

SCREENING, COLLECTING

審査力／回収力

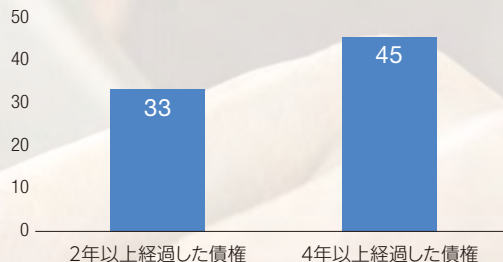
当社グループは、高い審査力と回収力、そして透明な経営と厳格なコンプライアンスをもとに、債権の高い回収率を実現しています。グループ各社の企業力向上に向けて、従業員のノウハウ共有や、コンプライアンス意識の向上に向けた研修などにも注力しています。

国内金融事業

独自の審査ノウハウとグループ内の共有などが強みの源泉

長年培った不動産担保ローンの独自の審査ノウハウとスピーディな対応により、アパートローン保証は残高・件数ともに順調に積み上がっています。2018年6月現在で1,500棟以上の保証を行っておりますが、デフォルトは皆無です。また、パルティール債権回収のIRRは、2年以上経過している債権全体では33%、4年以上経過した債権に限れば45%と、高い回収率を記録しています。

パルティール債権回収のIRR(2018年6月現在)
(単位：%)



韓国金融事業

自社与信比率の上昇とともに延滞率が低下

2018年6月現在の貸出資産残高は34,847億ウォンと2014年6月時点と比べると約6倍になりましたが、これは自社与信残高の増加を受けたものです。自社与信比率^{※1}がこの間に73%から97%まで上昇する中、延滞率^{※2}は26.40%から4.77%へ低下しました。

※1 買取債権と自社与信債権の合計に対する自社与信債権の比率

※2 貸出資産全体に占める30日以上延滞債権の割合

貸出資産残高



延滞率



東南アジア金融事業

Jトラスト銀行インドネシア(BJI)の貸出資産は質的に改善

BJIの旧経営陣時代の非効率な大口法人向けローンは残高縮小方針とし、小口化、リテール化を推進したことから、譲受債権残高が減少する一方で自社与信債権残高^{※1}の増加により、貸出資産残高が増加しています。不良債権比率^{※2}は、2015年10月にBJIの不良債権を分離した後は、ほぼ3%前後で推移しており、貸出資産は質的に改善されています。

※1 現在の経営体制になってからの与信債権残高

※2 全体の貸出資産に占める90日以上延滞債権の割合

貸出資産残高



不良債権比率





Jトラストグループの強み

THE J TRUST WAY OF

OPERATIONS, DEVELOPMENT

運用力／開発力

当社グループは、それぞれの市場から求められる付加価値の高い商品を開発し、サービスを提供することで、継続的な成長を図ってきました。国内では都市部の新築・IoTアパートのローン保証など、韓国ではITを駆使したバンキングサービス、インドネシアでは日系企業としての独自性を打ち出したバンキングサービスを提供しています。

国内金融事業

付加価値の高い各種ローンの保証を提供

アパートローン保証は都市部の駅近物件にほぼ限定していますが、中でもスマホから室内の家電製品を操作できるIoT新築アパートが若者に人気があります。また、円建てかつ比較的低金利でのローン契約を日本で行うことができる海外不動産担保ローンの人気が高まっているほか、高齢者が施設などに住み替える際に空き屋をリノベーションし、入居者に賃貸するリバースモーゲージローンの保証は地域経済活性化につながるとの声をいただいています。

国内
人気のIoTアパートをローン保証/高い入居率を維持



- 扉の施錠/開錠
- エアコン・テレビ
- 照明
- 窓(セキュリティ)

海外

銀行と共同開発した海外不動産の担保ローンは希少性が高く富裕層ニーズを充足



円建てでローン借入れ



韓国金融事業

ITを使った顧客サービスの充実

店舗を訪問しなくても銀行口座の開設から融資の申し込みなどを実施できるアプリケーションの特許を保有しているほか、貯蓄銀行では業界初のAI導入を見据えたチャットボットを導入し、お客様からのご相談に回答できる体制を整えました。こうした取り組みは、お客様へのサービスの充実のみならず、JT親愛貯蓄銀行やJTキャピタルの店舗網の削減を通じた筋肉質な経営体制につながっています。

AI チャットボット

AI導入を見据えた自動顧客対応(24時間、365日)



お客様からの相談対応及び情報提供

- ① 利用案内
- ② 商品推薦
- ③ 貸出申請
- ④ 金融取引など



メイン画面



一般相談



金融取引

東南アジア金融事業

ジャパンブランドを訴求し、関連マーケットを開拓

Jトラスト銀行インドネシアでは、ジャパンデスクを開設したほか、ジャカルタのイオンモール ジャカルタガーデンシティや日系企業の多いカラワン工業団地に出店しました。また、TV、看板等広告媒体を使用してジャパンブランドを訴求することにより、ローカル銀行との差別化を図り、日系メーカーや日系関連のローカル企業などとの取引拡大を目指しています。



イオンモール
ジャカルタガーデンシティ



カラワン-KIIC支店

Jトラストグループの強み

THE J TRUST WAY OF

BRANDS, TRUST

ブランド力／信用力

2018年2月、Jトラストグループは、ファイナンシャル・タイムズ紙の「アジアパシフィックで高い成長を遂げた会社1000社^{*}」に選ばれました。今後も、高いブランド力・信用力を背景に、社会の発展に貢献する新たな価値創造に取り組んでいきます。

FT
FINANCIAL
TIMES

1000
High-Growth Companies
Asia-Pacific

statista

2018

※オーストラリア、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾の11カ国の上場企業を対象に、2013年から2016年の収益の伸長率などが調査されました。

日本

四国銀行とBJIの提携で国内企業のインドネシア進出を支援

JトラストおよびJトラスト銀行インドネシア(BJI)は、2018年1月、株式会社四国銀行(東証1部、証券コード:8387)と日本企業の進出サポートに関する業務提携契約を締結しました。インドネシアにおける唯一の日系独資の銀行として、日本とインドネシア間のビジネス振興に貢献するとともに、新規顧客の獲得につなげていきます。



韓国

ファーストブランド大賞消費者満足度調査3年連続ナンバーワン

2017年12月、JT親愛貯蓄銀行は、韓国消費者フォーラムが主催する「2018大韓民国ファーストブランド大賞」において、貯蓄銀行部門の大賞を3年連続で受賞しました。これは消費者の投票によって満足度1位を選定する賞であり、JT親愛貯蓄銀行の他行にはない新たな商品開発やイノベーターな事業努力が認められたこととなります。



インドネシア

ベスト・バンク・ブランド賞を2年連続受賞

2017年11月、BJIは、インドネシアのWarta Ekonomi Magazine社が主催する「ベスト・バンク・ブランド賞」を2年連続で受賞しました。この賞は、銀行の歴史、業績、バンキング・テクノロジーなどの評価に加え、約2,000名の消費者インタビューに基づいて決定されるものであり、BJIは多くの消費者から支持されていることが示されました。

